

2025-2026年度国際ロータリーのテーマ



2025-2026年度国際ロータリー第2690地区メッセージ

「UNITE FOR GOOD」  
よいことのために手を取りあおう

2025-2026年度岡山北ロータリークラブのスローガン

元気になることをしよう

2025~2026年度 Rotary Club of Okayama North

# Rotary 週報

国際ロータリー第2690地区第10グループ  
岡山北ロータリークラブ

事務所 / 〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル6階西F号室  
TEL.(086) 222-9590 FAX.(086) 224-4288  
E-mail : okayamakita@ok6rc.jp  
http://okayama-kita-rc.jp/

例会会場 / 岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山  
例会日 / 毎火曜日 12:30~13:30

## 理事・役員

2025.7~2026.6

会長	高 島	浩 剛
副会長	上野山	義 宏
幹事	砂 田	信 達
副幹事	宮 井	浩 也
会計	岸 本	司 海
S.A.A.	三 宅	
副S.A.A.	磯 島	

会員増強・退会防止(理事)	馬 永	場 山	幸 雅	三 己
広報(理事)	廣 野	山 野	雅 景	己 治
奉仕プロジェクト(理事)	磯 島	島 本	芳 太	樹 郎
ロータリー財団(理事)	牧 杉	山 林	栄 茂	洋 真
クラブ3年計画	米 高	橋 上		樹 剛
親睦活動				
プログラム				
直前会長(理事)				
次期会長				

モバイルサイトへのアクセスはQRコードをご利用ください。(岡山北RCホームページ)



### きょうのプログラム

「オンライン寄付システムの説明」

坪 井

### 次回5月19日のプログラム

「年男の抱負」

翔 会員

## 5月のお祝い行事

会員誕生日：橋田、宮武、難波、武南君  
結婚記念日：磯島(慈)、三宅、内座、双田、角南君

## 前回4月28日の例会記録

### 出席の状況

会員数 53名(出席免除者0名)  
出席者数 26名  
欠席者数 27名  
出席率 49.06%  
4月ホームクラブ平均出席率 52.20%

### ビジター

岡山西南ロータリークラブ

竹 下	勇 様
岩 野	樹 様
恒 本	寛 様
藤 原	弘 様

## スケジュール

### 5月 青少年奉仕月間

17日(日) クラブ活性化ワークショップ  
(倉敷アイビースクエア)  
19日(火) 12:30~例会  
26日(火) 会場移動夜間例会

### 6月 ロータリー親睦活動月間

2日(火) 12:30~例会  
13:40~第12回理事役員会  
9日(火) 12:30~例会  
13日(土)~17日(水) RI国際大会(台湾・台北)  
16日(火) 例会取消し(定款第7条第1節)  
23日(火) 12:30~例会 退任挨拶①  
30日(火) 12:30~例会 退任挨拶②

本日のメニュー：ミリオンダラーミール(洋食)

次回のメニュー：ヘルシーランチ(和食)

## 会長挨拶



本日は岡山西南ロータリークラブより多数の皆様にお越しいただき、誠にありがとうございます。当クラブへようこそいらっしゃいました。心より歓迎申し上げます。

さて、先週末のことになりますが、私が2017-18年度に幹事を務めさせていただいた際の、県南16ロータリークラブの「同期幹事会」が開催されました。今回は10名が集まり、思い出話や近況報告で大いに盛り上がった楽しいひとときとなりました。参加者の半分以上がすでに各クラブで会長を経験されている方々だったのですが、お話を伺う中で少し残念なこともございました。なんと、その仲間のうちすでに2名が退会されており、さらにもう1名も退会を考えているとのことでした。

理由を聞いてみますと、ご自身の病気やケガ、あるいは仕事柄、岡山を離れていることが多くてなかなか参加できないといった事情でした。やむを得ない理由とはいえ、志を同じくした仲間が離れていくのは非常に寂しいものです。時代やライフスタイルの変化に合わせて、もっと自由に柔軟に参加できるロータリークラブの仕組みがあれば良いのにと、深く考えさせられる出来事でした。

幹事同士の絆といえば、先週の例会では当クラブの砂田幹事の同期幹事の皆様が激励に駆けつけてくださいましたね。与田幹事からは、辛辣ながらも愛情にあふれる、大変心温まるエピソードをご披露いただきました。さまざまな幹事経験者の方々のお話を伺いますと、どの年度の幹事会も、年度が終わってからもずっと交流が続いているそうです。クラブの中核として共に汗をかいた大役だからこそ、よほど強い結束があるのだろうと改めて感心いたしております。

## 幹事報告

1. 5月5日（火）例会は定款第7条第1節により取消しとなっております。
2. 松江しんじ湖ロータリークラブ創立30周年記念誌、他クラブ週報を回覧いたします。

## S. A. A.

岡山西南RC 竹下様、岩野様、恒本様、藤原様：本日は岡山西南RCとしてメイクアップに来させていただきました。皆さんも、ぜひ岡山西南RCへメイクアップに来てください。

高島君：岡山西南ロータリークラブの皆様、本日はようこそ岡山北ロータリークラブへお越し頂き有難うございます。

磯島(慈)君：福井会員先日は、住職にお電話ありがとうございました。京都で住職と私、研修中でしたが、2人で抜け出す口実になりました。本日のスピーチを楽しみにしています。

宮井君：本日、年男の抱負を述べさせていただきます。よろしく申し上げます。

米林君：福井先輩の復会に感謝して。

吉田君：3月に行われました新天地育児院における社会奉仕事業にご協力頂きました北ロータリークラブメンバーの方々全員に心より感謝いたしております。ありがとうございました。

福井君：本日、再入会のインニシエーションスピーチをさせていただきます。今度ともよろしく申し上げます。



幹事報告



出席報告



スマイル報告



6RCをメイクアップしている  
西南ロータリークラブの方4名と

## 委員会・活動報告



雑誌委員会  
委員長 橋田 歳行 会員

「ロータリーの友4月号」の紹介

4月は「環境月間」ということで、2021年に新たに加わった七つ目の重点分野「環境」でグローバル補助金承認を受けた奉仕事業の紹介がされました。

また、「うちのワン子」紹介コーナーに掲載されたご自身のワンちゃんの記事を笑顔で紹介されました。



## スピーチ 「イニシエーションスピーチ」

親睦活動委員会委員 福井 正 晃 会員



●信条 何事にも誠心誠意で  
一学一践

●略歴 現在 (株)福井厨房取締役会長  
(有)明宝コーポレーション 社長  
岡山市立弘西小学校、旭中学、朝日高校、東大  
家訓は 死ぬまで働け、働けるうちは働けということで父も90  
まで働いていました。ですから臨終が定年と思っています

●家族構成 現在の同居家族は妻一人で、息子 3人  
長男 福井厨房社長  
次男 東京でフリーランスで、旅行記事とか会社案内とかWEB  
嫁はプロの写真家として頑張っている  
三男 イケヤ勤務  
孫 現在10人

●趣味 読書、音楽・絵画鑑賞、寺社参拝、旅行など

●仕事 病院、ホテル、施設などの調理をする機器の設計施工販売  
初代が作った会社で今年が創立70年になります  
その他 これに関連することの問題の解決のお手伝い  
ステンレス加工の会社でメインは業務用シンクとかテーブルの製作  
あと準備中；ペットフードを作る準備中

傘寿を迎えましたがボケないように、人様のお役に立てるように生きるということで現在、奮闘中です。

先月、私の傘寿の祝いと妻の喜寿の祝い、それに夫婦が結婚してから50年になりますので金婚式。その感謝の集いをやりました。家族、親族が約40人ほど集まってくれて、湯郷でパーティをやりました。本当に有難いことです。

最後に 皆さんのお名前と顔が一度では覚えきれないと思いますので、何度か聞き直すことがあると思いますが、どうぞお許しいただきたいと思います。



こうした思いから宿泊事業に取り組んでみたいと思っていたときに、2015年から関わっていた「フィールドオブクラフト倉敷」での縁で、大原美術館の南側に店を構える地元のギャラリーオーナーから、建物活用の相談を受け、自ら宿泊事業をおこなうことを決めました。2018年に工芸品店と古民家の宿泊施設を開業し、その後も色々な縁が重なり、現在の規模は、開業当時には想像もしていませんでした。

忘れられない仕事があります。倉敷村の村長まで務めた家柄の米蔵の再生です。150年以上の歴史を持ちながら、漆喰が剥がれ瓦が落ち、修繕も解体も費用がかかりすぎて手詰まりになっていました。大家さんには「歴史と思い出を残したい」という切実な思いがありました。その蔵を借り上げ、柱や土壁や瓦を可能な限り再利用しながら改修し、宿泊施設として再生しました。結果、大家さんにも、宿泊客にも、地域にも大変喜んでいただくことができ、これこそ自分がしたいことだと思えた仕事でした。

困り果てていた地域資源たる築150年の米蔵が、関わる全員にとっての価値が変わる。稼げて、残せて、喜ばれる。これが、私が目指す地域貢献の原型です。

48歳になり、時間・体力・能力の制約がはっきりと見えてきました。次の12年で何をするかを絞らなければならない。やはり「不動産×観光×工芸」という自分固有の掛け算を活かして地域に貢献したい、という思いを改めて強くしました。新たに支部長を担う宅建協会のエリアは、岡山駅前から過疎地域まで含む、まさに岡山県の縮図です。この地域には、地理的・自然的な恵みと、2000年以上積み重なってきた歴史的なポテンシャルがあります。このポテンシャルを不動産の側面から生かし、守り、持続可能な形につなげていくこと、これを次の12年の仕事にしたいと思っています。

人生は川下り。流れに身を任せざるを得ない中で、必死で幾分かのコントロールを試みる。自ら難しいルートに舵を切ったせいも、難所が続いています。当クラブで得た仲間と視野を糧に、60歳の年にまたここでスピーチができるよう精進してまいります。



